

コスメ化で伝統をつなぐ”新しい挑戦”

コロナ禍で困窮した組踊役者がメイドイン沖縄にこだわり

《組踊》の化粧を再現 & 役者の下地モクロウを配合して作った

沖縄初/発「伝統を、肌で感じる」フェイスパック

コロナ禍で舞台は軒並み中止、活動はもちろん仕事を失った組踊役者が、舞台に依存しない芸能活動「舞台で演じるほか、役者ができること」をコンセプトに”組踊フェイスパック”を開発。

那覇市特定創業支援を受け、県内の役者・化粧品会社と連携し製品化。**2023年6月5日より国立劇場おきなわにて販売を開始します。**



組踊の伝承者である代表者(高井)。2020年のコロナ禍の舞台芸術は不要不急の娯楽と位置づけられ、公演自粛がつづき、生活に直接的な打撃を受けました。

コロナ禍以前から琉球芸能の実演家が本業で生活自走することは共通の課題であり、安定収入を確保するのはなかなか難しい。今回のパンデミックであらためて実情が浮き彫りとなり現実的な方策の必要性を認識し、本取り組みが始まりました。

組踊のデザイン美容パックは、誰でも簡単に伝統文化を気軽に体験できます。生涯“化粧”と付き合う伝統芸能役者ならではの繊細な視点で、『なぜ組踊役者は肌がきれいなのか?』をテーマにしています。

びんつけ油の主成分であるモクロウ(植物油)は、古来より力士の髷結い、舞妓や歌舞伎の下地のほか、電気が普及する前は和ろうそくといったあかりとして使われてきました。伝統文化や、人々の生活を支えてきたモクロウが採れるハゼノキは、別名リュウキュウハゼといいます。その昔、中国から琉球、琉球から薩摩を経由して日本各地へ広まりました。

そんな三線と同じような歴史をもち日本の伝統文化にかかせない素材と共に沖縄の伝統文化を世界に届けたい！もう一度沖縄から世界へ

《 組踊フェイスパックの特徴 》

- | | | |
|--------------------|--|---------------------|
| ■ 県内、世界初!?組踊の化粧を再現 | | ■ 役者の下地「モクロウ」を使用 |
| ■ 組踊立方・佐辺良和が監修 | | ■ 沖縄素材をたっぷり詰め込んだ |
| ■ やさしい5つのフリー | | ■ MADE IN おきなわにこだわる |

《 本件に関するお問合せ先 》

琉球コンパス合同会社 高井 MAIL:takaik@ryukyucp.com